

取組・活動名		次代につなぐ日本人の誇り ～ノーサイドの精神～				
校種・学年		中学校・第2・3学年			教科等	道徳
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	1時間
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	ワークシート 映像資料(準備可能であれば)
プログラムのねらい						
<p>今日、グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を有する人々と互いに尊重し合いながら生きることや、国際理解に努めていくことが求められている。そのためにはまず、日本人としての自覚と誇りをもち、「国を愛する心」を育てていくことが重要である。</p> <p>本プログラムでは、ラグビーワールドカップ 2019™での日本対南アフリカ戦を教材として扱うことで、ラグビーというスポーツへの興味・関心を高めると共に、【日本の歴史を変えるために闘った選手たちの想い】や、【日本代表の勇気ある決断を称える外国人の存在】に触れさせ、日本人としての誇りをもちたい。</p>						
児童・生徒の実態						
<p>明るく活発な生徒が多く、男女の仲も良い。学校全体で道徳の時間に力を入れており、今年度から学校・学年単位で同じ教材を用いて取り組む【共通道徳】や、学級担任以外が授業者となる【交換道徳】を積極的に取り入れている。その結果、他クラス、他学年の生徒と、道徳の話題で意見を交換し、考えを主張し合う様子も見取れるようになってきている。</p> <p>本プログラムの授業を実践するにあたり、事前アンケートを行った。結果は下記の通りである。</p>						
質問		はい	どちらともいえない	いいえ		
ラグビーのルールをだいたい知っている。		11%		89%		
ラグビーワールドカップ2019の試合が、埼玉県でも行われることを知っている。(別授業にて説明済み)		99%		1%		
ラグビーワールドカップ2019の試合を見てみたいと思う。		27%	46%	27%		
日本の良いところを書いてください。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀正しい</li> <li>・電車が正確</li> <li>・物づくりがうまい</li> <li>・四季がある</li> <li>・日本語が良い</li> <li>・おくゆかしさ</li> <li>・外国人から好かれている</li> <li>・粘り強さ</li> <li>・食べ物がおいしい</li> <li>・アニメがすごい</li> <li>・ゆずり合いができる</li> <li>・おもてなしの心</li> <li>・マナーを守れる</li> <li>等</li> </ul>				
日本の改善できたらよいと思うところを書いてください。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品廃棄率</li> <li>・本音が言えない</li> <li>・ネットマナー</li> <li>・少子高齢化</li> <li>・外国の人のもつイメージの悪さ</li> <li>・輸入に頼っている</li> <li>・借金</li> <li>・外国とのかかわり方</li> <li>・決断できない</li> <li>等</li> </ul>				
<p>上記のアンケートの結果から、ラグビーワールドカップ2019が埼玉県でも開催されることは知っているものの、興味・関心が高いとは言えないことがわかった。</p> <p>また、たくさんの日本の良さを認め、誇らしいと感じられている一方で、改善したほうがよいと感じていることも多く挙げられた。</p>						

## プログラムと既存の学習との関わり

道徳のC-(17)【我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】の項目に該当する。ワールドカップが行われることに触れながら指導することによって、生徒のラグビーへの興味・関心を高めることができる。また、保健体育科の教員と連携を図りながら実施時期を設定することによって、相乗効果により両者の授業の質が向上することが期待できる。

## 指導計画・評価計画

### 【指導計画】

教科：【特別の教科 道徳】（1時間扱い）

保健体育の授業と連携を図り、ラグビーの時期と合わせて実施できるとよい。

### 【評価計画】

○ラグビー日本代表の努力や想いに触れたり、外国の人が日本の勝利を喜んでくれていることを知ったりすることで、日本の素晴らしさに気付き、日本人としての自覚と誇りをもつことができる。

○ラグビーの「ノーサイドの精神」について触れ、他国の文化を受け入れる姿勢について考えることができる。

## 本時の学習指導

### (1) 本時の目標

勇気ある決断で勝利を掴んだ日本代表と、その勝利を称え喜ぶ外国人の姿から、日本人としての自覚と誇りをもつ。

### (2) 展開

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応 生徒の思考	指導上の留意点 ◆評価の観点
導入	1 黙想をして心を落ち着かせる。 2 事前アンケート「日本の良いところ・改善できるとよいところ」の紹介。 3 発問1「外国の人から日本人はどんなイメージをもたれているでしょう」	・心を落ち着かせる。 ・クラスの仲間の様々な意見に触れる。 ・マナーが良い ・真面目で優しい ・リーダーが少ない ・外国人というだけで壁がある 等	・心を落ち着かせ、物事を多面的、多角的にとらえる準備をさせる。 ・テーマに関わる発問に向き合わせる。
展開	4 簡単なラグビーのルールや、代表制度について知り、南アフリカには善戦するだけでも大変なことだと理解する。	・国籍が違っても代表選手になれるが、二度と母国のユニフォームを着られないことに驚く。 ・外国人選手は、日本代表になることを選んでくれた。	・ペナルティキックで3点、トライで5点入ることについて理解させる。 ・世界で勝てない日本が、世界一厳しい練習を乗り越えて大会に臨んでいることを理解させる。

	<p>5 日本対南アフリカ戦の映像資料を見て、ラストプレーの選択について考える。(映像を止める) 発問2 「キックで同点、トライで逆転のチャンスが来た日本代表はどちらを選択するだろう」 A キックで確実な同点 B トライ狙いで逆転 選手の気持ちになって考える。</p> <p>6 日本代表選手がトライを選択し、逆転勝利した映像を見る。また、【日本ラグビーの歴史を変えたかった】という選手の想いに触れる。</p> <p>7 外国での日本対南アフリカ戦の「パブリックビューイング」の映像を見て、日本の勝利を飛び上がって喜んでいる外国の人が大勢いることを知り、その理由について考える。(映像がなければ写真で代用) 発問3 「なぜ外国の人たちは日本の勝利をあんなに喜んでくれたのだろうか」 外国の人の気持ちになって考える。</p>	<p>A 監督の指示は絶対 A 確実に決めたい A 気持ちはBで、悔しいけどA B 勝ちにこだわりたい B 努力を信じる B 後で後悔したくない B ラグビーの良さを広めたい</p> <p>・すごい！ ・感動した。 ・こんなにすごい試合のことを知らなかった。 等</p> <p>・日本人の諦めない姿に感動したから。 ・一生懸命な姿を見て応援したくなった。 ・スポーツに国境はないから、良いプレーで盛り上がるのはあたりまえ。</p>	<p>・監督の指示はキックであることを理解させ、選手の気持ちになって考えさせる。</p> <p>・外国籍の選手も含めて、日本のラグビーの歴史を変えたい想いで選択したことに気付かせる。</p> <p>・外国のラグビーファンの気持ちになって考えさせる。</p>
<p>終末</p>	<p>8 本時の感想を書く。</p> <p>9 本時の感想を発表する。</p> <p>10 教師の話聞く。</p>	<p>※別枠で紹介</p>	<p>◆日本代表になることを選択し、日本のために戦った選手の想いや、応援してくれた外国の人達の気持ちを考えることで、日本人としての自覚と誇りをもつことができたか。</p>
<p>【ノーサイドの精神】に触れながら、国境を越えて盛り上がりを見せるラグビーの素晴らしさに触れ、日本人としての自覚と誇りを持ち、自国・他国に関わらず、頑張っている人を応援できることの素晴らしさを伝えたい。</p>			

### 【生徒の感想】

- ・僕はスポーツ好きだけど、ラグビーはやったことがないし、ルールに関しても無知でした。でも映像を見て、選手の熱い気持ちが伝わってきて、自分まで興奮してきました。日本の選手と海外の選手が一体となって頑張っている姿に感動しました。ノーサイドの精神を大切にして、たとえ敵であっても、試合の後には称え合えるような選手になりたいです。
- ・日本や日本人が外国の人から愛されている理由が今回の道徳でわかったような気がしました。よくテレビで外国の人が、「日本人はとてもやさしい」「日本食が美味しい」など、日本をたくさん褒めてくれています。外国の人が思っているほど、良いところばかりなのかと、疑問に思うこともありました。今回のラグビー選手のように、最後まで勝ちを狙いに行く姿は輝いて見えました。そんなところが、外国の人が日本を好きになる理由の一つなのかと思いました。
- ・今日の映像を見て、ラグビーに少し興味をもちました。自分たちで選択した結果、逆転で勝つことができたのはすごいなと思います。また、日本の逆転勝利を外国の人があんなに喜んでるのがびっくりしました。日本のことを応援してくれている人がたくさんいて、嬉しくなりました。「ノーサイドの精神」って本当に素晴らしく、もっと色々な人に知ってほしいと思いました。
- ・ラグビー日本代表の勇気に感動しました。多くの外国の人に、この試合を見てもらって、日本人は勇気があるなあって思ってもらえたら光栄です。また、2020年のオリンピックや、今年のラグビーワールドカップで、たくさんの方が日本に来てくれると思うので、日本の良いイメージを壊さないように、僕たちが日々の生活を頑張らなければと思います。
- ・今回の道徳を通して僕は、日本に生まれてよかったと思いました。日本には悪いところもあるかもしれないけど、良いところの方がたくさんあり、諦めない姿は格好いいし、仲間を信じて体を張る姿は美しかったです。そういうところが日本が世界に注目してもらえる理由の一つだと思います。日本人としての誇りをもち、一つ一つのこと全力で取り組みたいです。今自分がやることは、サッカーと勉強なので、頑張ります。

成果	おすすめポイント
○ラグビーを通して、スポーツが国境を越えて与える感動や価値について考えを深め、日本人としての誇りを持たせることができた。 (生徒の感想から)	○他の内容項目に比べ、扱いが難しいとされる内容であるが、ラグビーというスポーツがもつ魅力と特性は国境と年代を越えて、中学生にも感動を与え、日本人としての自覚と誇りを感じさせることができる。
【授業後アンケート（1か月後に実施）】 ○2019年のラグビーワールドカップを観戦してみたいと思う。 はい 94% いいえ6% ○日本の良さを感じることができた。 はい 97% いいえ3%	<b>“次代に語り継ぐ”ポイント</b> ① 「歴史を変えたい」という信念をもって戦った選手たちの想い。 ② 勇気をもって戦う日本代表の勝利を心から喜んでくれる海外のサポーターの存在。 ③ 応援される国、日本であることの誇り。